第４学年〇組　道徳科学習指導案

平成２９年〇月〇日（〇）
授業者　教諭　中崎　舞

１　主題名　大切な命　　内容項目［Ｄ　生命の尊さ］

２　ねらい　　自分の存在が家族にいかに喜ばれ、いかに大切にされてきたかということについて考える学習を通して、生命は自分一人のものではなく、多くの人々の支えによって守り、育まれている尊いものであることに気付き、自分と同様に生命あるものを大切にしようとする心情を育てる。

教材名　「家族のアルバム」
（出典：彩の国のどうとく「みんななかよし」埼玉県教育委員会）

３　主題設定の理由

（１）ねらいや指導内容について

内容項目［Ｄ　生命の尊さ］は、中学年では「生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること」を内容としている。低学年では、主に自分の生命について考えることにより、生きることのすばらしさや生命を大切にすることを学習している。また、高学年では、生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを学習する。そこで、中学年では、生命は自分一人のものではなく多くの人々の支えによって守られ、育まれていることや与えられた生命を一生懸命に生きることのすばらしさについて考えていく。児童にとって生命とは身近にありながら、その尊さを実感する場面が少ない。また、病気やけがをしたときなどに自分の命の大切さを感じることはできても、他者の命を同じように大切だと感じることは難しい。一方で、この時期の児童は、現実性をもって死を理解できるようになる。そのため、特にこの時期に生命の尊さを感得できるようにすることが必要である。

指導に当たっては、生命の尊さを自分との関わりの中で理解させていく。また、自分の命は自分一人のものではなく、多くの人々の支えによって守られ、育まれているのだということに気付かせる。そして、その尊さは自分だけでなく、他者や他の生命あるもの全てにおいても同様であり、自分だけでなく他者も大切にしていこうとする心情を育てる。

（２）これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、（略）。生命の尊さに関わる内容は、前学年で「いのちあるものを大切に『目の見えない犬』(Ｄ　生命の尊さ)」、「赤ちゃんが生まれるまで『おばちゃん、がんばれ』(Ｄ　生命の尊さ)」の教材を通して学習し、４年生では一学期に「自然の中で生きている『うみがめの命』(Ｄ　自然愛護)」で自然のすばらしさや不思議さについて学習している。他の教育活動との関連として、理科「季節と生き物の様子」では身近に見られる動物や植物の様子の観察を通し

て生命あるものの尊さを実感し、総合的な学習の時間「いろいろな人と伝え合おう(福祉教育)」では、体の不自由な人の話を聞き、調べる活動を通して、生命そのものを見つめ、人間は互いに命を守り、支え合っていることを学習している。

本教材に関わる児童の実態を把握するために、次のような意識調査を行った。

意識調査(○月○日実施　男子○名　女子○名)

1　友だちとけんかをしたことがありますか。

ある　○名　　ない　○名

①どんなことでけんかをしたのですか。(記述)

・考えが合わなくて　・物の取り合い
・一番を取り合って　・誤解で
・悪口を言って　・他人のことに口をはさんで
・ちょっかいを出されて、だんだん本気になって

②友だちとけんかをしたときにどんな言葉を使いましたか。(複数回答)

・ばか　・やめて　・最悪　・きもい
・あほ　・きらい　・どこか行け　・死ね(本教材に登場)
・ふざけるな　・あっそ　・もういいよ
・うるさい　(本教材に登場)　・もう知らない
・何するんだよ(本教材に登場)

③けんかのあと、どんな気持ちがしましたか。(複数回答)

・いやな気持ち　・相手の気持ちが気になった　・謝りに行こうかな
・いらいら　・もやもや　・悪いことしちゃったかな

2　「命」は、どのようなものだと思いますか。(記述)

・大切なもの　・お金で買えない
・一つしかない大切なもの　・一度なくしたら、取り戻せないもの
・生き物(人間)にとって一番大切なもの
・命があるから生きていける。命があるから楽しくなったり、悲しくなったりする。命は、ありがたいもの

3　命を大切にするということは、どういうことだと思いますか。

・自分の身を守るということ
・事故などにあわないようにすること
・死なないようにすること
・生命を残していくこと
・人を大切にするということ
・お母さんからもらった大切な命だということを忘れずにいること
・悪い気持ちをなくすということ
・楽しい人生を送るということ
・みんなを大切にするということ

以上のアンケート結果から、本学級の児童の様子が見えてきた。

質問１では、ほとんどの児童が友だちとけんかをした経験があり、友だちを傷つけるような言葉や生命に関わる言葉を自分の感情のままに軽々しく口にしている。また、けんかのあとも感情を引きずる児童がいる一方で、自分を振り返り、相手のことを考えられる児童もいる。本時の教材に登場する「たくや」に共感できる部分が多いと思われる。

質問２では、「命」は大切なものであるという回答がほとんどであった。命を具体的に述べていた児童は一人であったことから、児童にとって「命は大切である」ということは理解しつつも、具体的にはどういうことなのかを実感を伴って理解する場面が少ないのだと思われる。

質問３では、本時のねらいに関わる「命を大切にするということはどういうことなのか」についての意識を調査した。「自分の身を守る」「死なないようにする」など、身体的な「命」を大切にするという回答が多かった。一方で、「一人の人を大切にする」「みんなを大切にする」「悪い気持ちをなくす」など、自己の生き方や在り方、心のもち方などについて触れる児童もおり、「よりよく生きること＝命を大切にすること」というとらえ方ができている児童も数名いた。

本時では、内容項目を「生命の尊さ」としている。「命は自分一人のものではない。命を大切にするということは、その人自身を大切にするということ」について考えを深めていきたい。

（３）教材の特質や活用方法について

本教材は、友だちに「死んじゃえ」と口にしてしまった主人公が、自分が両親や祖父母に誕生を喜ばれ、大切に守り育てられてきたことに改めて気付かされ、自分の生命が尊いものであることを実感するとともに、友だちの生命もまた同じように尊いことに気付き、反省したことから、自他の生命を大切にしようとする姿が描かれている。

この教材を通して、主人公「たくや」の生命に対する意識の変化を捉えさせながら、家族の深い愛情によって今の自分があるのだということや他の誰かもまた誰かにとって大切な存在なのだということに気付かせ、生命あるものを大切にする心情を養う。また、終末に母親からの手紙を用意し児童一人一人に渡すことによって、自分を支えてくれる家族、特に自分を産み育ててくれた母親の温かい愛情を感じるとともに、母親に対して尊敬と感謝の念をもって接することができるようにさせたい。

4　学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	・予想される児童の発言	○指導上の留意点（☆評価）
導入 （３分）	1　アンケートの結果を聞く。 2　本時の課題を知る。 （課）命を大切にすることについて考えよう	考えていくことを明確にするため、課題を設定した。	○児童の実態をもとに本時の課題を設定する。 ○課題を提示することで、考えることを明確にする。
展開 （７分）	3　登場人物や条件・情況について知る。		○場面絵やカードを用い、条件・情況をしっかり押さえる。
	登場人物　：たくや（主人公）、なおき、お母さん、お父さん 条件・情況：昼休み、教室に戻ろうとしたたくやは、飛び出してきたなおきとぶつかり、口論になる。勢いで「死んじゃえ」と口にし、家に帰っても怒りが収まらなかったが、涙を浮かべた母親に戸惑う。		
	4　教材「家族のアルバム」の読み聞かせを聞く。	・たくやの気持ちを考えながら聞く。	○主人公や教材には書かれていない両親の心の内がつかめるように、間の取り方やキーワードに気を付けて読む。
（20分）	5　主人公の心の変化を中心に話し合う。 ①このお話の問題点はどこだろう。 ・「死んじゃえ」と言ったらいけないのかな。 ・でもたくやは言っている。どんな気持ちからだろう。	・「死んじゃえ」と言っているところ。 ・絶対だめ。 ・むかつく。 ・そっちが悪いのに。 ・なおきはいやなやつ。	○たくやの怒りや「死んじゃえ」と言った気持ちに十分共感させる。 ☆自分を主人公に託して、自らの考えを語っていたか。
	②お母さんの涙を見たり、お父さんの話を聞いたりしたたくやは、どんなことに気付いたのだろうか。 漠然とした言葉にならないよう、発問を工夫する。	・ぼくはみんなに大事に育てられてきたんだ。 ・ぼくの命を大切に思ってくれている。 ・なんてひどいことを言ってしまったんだろう。	○一人一人が自分の考えを伝えられるよう、少人数で意見を交換し合い、考えを深めさせる。 ３人の小グループで意見を交換し、質問や感想を言わせる。

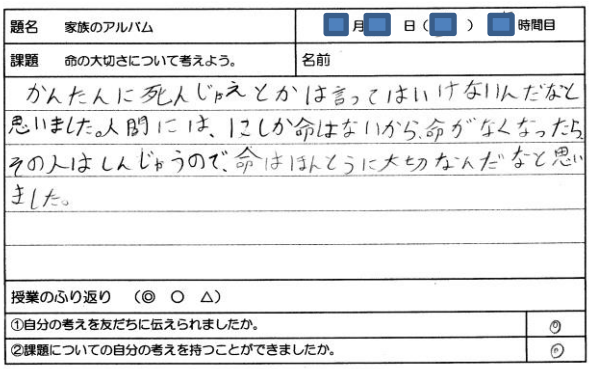
	・たくやの命は自分一人のものですか。 ・たくやの考えは、どうして変わったのでしょうか。	・みんなに支えられている ・お母さんごめんなさい。 ・自分が大切にされていることが分かったから。	命の重さはみな同じだということを視覚で実感させるため「命の天びん」で、たくやとなおきの命の重さを比べる。
	・「なおきくんのおうちも同じじゃないのかな」何が同じなの。 ・たくやの命となおきくんの命は違うの。 児童の意見を他の児童にも広げることで、個々が考えを深め、道徳的価値に近付けるようにする。 ③学校でなおきくんに会ったら、たくやは何と言うだろうか。	・家族に大切にされていること。 ・なおきくんの命も大切なんだ。 ・なおきくんごめんね。 ・きのうはひどいこと言ってごめんね。 ・もう絶対に「死んじゃえ」なんて言わないよ。	○なおきの命も大切だということをしっかり押さえる。 ☆いろいろな登場人物の気持ちに共感し、命についての考えの違いに気付くなど、命について多面的・多角的な見方ができたか。 ○児童同士の役割演技でお互いの生命を大切にしていこうという前向きな気持ちを押さえる。
（10分）	6　本時の振り返りを書く。 ・命を大切にするというのはどういうことだろう。 児童が自分自身と向き合えるように、書く活動を取り入れる。	・けんかをしたときにひどいことを言ってしまったけれど、これからは気を付けよう。 ・両親からもらった命を大事にしよう。 ・友だちのことを大切にしたい。	・今までの自分自身を振り返って書かせる。 ☆書く活動を通して、自分や他の生命がかけがえのないものだということに気付き、自己の生き方について考えを深めることができたか。
終末 （５分）	7　お母さんからの手紙を読む。	・一人一人に手渡しで渡す。	・ＢＧＭをかけ、しっとりとした雰囲気で読ませる。

5　評価

・自分を主人公に託して、自らの考えを語っていたか。
・いろいろな登場人物の気持ちに共感し、命についての考えの違いに気づくなど、命について多面的・多角的な見方ができたか。
・書く活動を通して、自分や他の生命がかけがえのないものだということに気付き、自己の生き方について考えを深めることができたか。

6　板書計画

〈児童のふり返りより〉

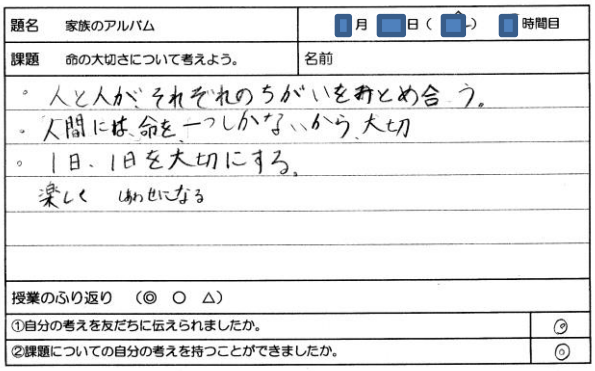


題名	家族のアルバム	■月■日（■）■時間目
課題	命の大切さについて考えよう。	名前

かんたんに死んじゃえとかは言ってはいけないんだなと思いました。人間には、1こしか命はないから、命がなくなったらその人はしんじゃうので、命はほんとうに大切なんだなと思いました。

授業のふり返り　（◎　○　△）

①自分の考えを友だちに伝えられましたか。	◎
②課題についての自分の考えを持つことができましたか。	◎



題名	家族のアルバム	■月■日（■）■時間目
課題	命の大切さについて考えよう。	名前

・人と人が、それぞれのちがいをみとめ合う。
・人間には、命を、一つしかないから、大切
・1日、1日を大切にする。
楽しく　しあわせになる

授業のふり返り　（◎　○　△）

①自分の考えを友だちに伝えられましたか。	◎
②課題についての自分の考えを持つことができましたか。	◎